

英語科学習指導案

日時：平成 26 年 11 月 5 日（水）5 校時

場所：弟子屈町立弟子屈中学校

学級：第 3 学年

教諭：

1. 単元名 Lesson 6 Protecting Nature (ONE WORLD ENGLISH COURSE II)

2. 単元の目標

本文（説明文や表にまとめたメモ）において、特にタンチョウやシマフクロウが減少した原因や理由となる事柄などの大切な部分をとらえて的確に読み取り、タンチョウやシマフクロウの保護についての意見を交流することができる。

3. 授業づくりの視点

このレッスンでは、釧路湿原の希少動物、タンチョウとシマフクロウについて学習する。タンチョウやシマフクロウが生息する釧路湿原は、釧路湿原国立公園内にあり、阿寒国立公園を抱える弟子屈町に住む本校の生徒にとっても、大変身近な湿原である。英文ポスターや表にまとめられた情報、説明文から、要点を読みとることがねらいの中心に位置づけられている。

要点を読み取るために、関係代名詞（目的格）を用いてものを説明したり、thanks to ~や because of~などを用いて原因・理由・経緯を説明したりする表現に注目させ、前後の文の関係を理解させながら読み進めていきたい。

教科書では 4 つのパートから構成されている。Part 1 と Part 2 では、メイが、タンチョウについて書かれた英文ポスターを読んでいる。釧路湿原におけるタンチョウの生息数の減少の原因やタンチョウの保護活動、ラムサール条約について紹介する説明を読み取る。Part 3 では、メイが、シマフクロウについて調べたことを表にまとめている。この表からシマフクロウの生態の概要を読み取る。Part 4 では、メイが、シマフクロウの生態について、文章にまとめている。この文章から、シマフクロウの生態を通して環境問題について考える。

各パートにおいて、要点把握をするために、音読を中心的な活動としながら、言語活動を意識した活動を取り入れたい。聞き取りからの概要把握をはじめ、説明文への補助質問を考える活動、絵や写真に説明文を当てはめる活動、音読のポイントをグループごとに話し合う活動、本文の暗唱、Q&A 説明文をダイアログにしたペア活動を使って、何度も本文を読み込む機会を設定したい。さらに、説明文の内容を把握し、弟子屈の自然やシマフクロウの保護について自分の立場で考え、自分だったらどうするかを考えさせ、互いに英語で交流しあえる場の設定をしたい。

支援を要する生徒に対しては、ペア活動やグループ活動での学び合いや学習課題の確認や「補助ノート」の活用など、個に応じた支援をしながら活動に取り組ませたい。

また、今までのレッスン同様、家庭での学習の振り返りや定着の助けとなるよう、板書を工夫し、ノートの取り方の指導にも力を入れたい。

したがって、タンチョウやシマフクロウの生態や環境保護について読み取り、環境問題について自分の意見を英語で表現することができる力を養う。

① 研究内容 2 のア「見通しの場面を設定した授業」にせまるために

- ・「オーラル・イントロダクション」を活用したり、「読み取りのポイント」や「音読する上での工夫点」を提示したり生徒同士で話し合わせたりして、「読むことへの目的意識」を持たせる。
- ・「補助ノート」を事前配布することで、どのように学習を進めるかの「見通し」を持たせる。

② 研究内容 2 のイ「振り返りの場面を設定した授業」にせまるために

- ・「前時の学習内容の振り返り」のために「オーラル・レビュー」を活用したり、「本時の学習内容の振り返り」のために板書による確認をしたりして、「前時」と「本時」の振り返りの場を設定して学習内容の深化や定着を促す。

③ 研究内容 2 のウ「言語活動の活用」にせまるために

- ・ペア活動やグループ活動を積極的に用いることで、自分の考えや相手の考えを交流し合い、表現活動に有用感を持たせる。
- ・次の表を意識しながら生徒の活動の場면을重視したい。

<学習指導要領に示された言語活動と学習活動や教材等の関連>

ア 聞くこと	イ 話すこと	ウ 読むこと	エ 書くこと
(1) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な音声の特徴をとらえ、正しく聞き取る。 ・教科書本文の聞き取り	(1) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音する。 ・補助ノート	(1) 文字や符号を識別し、正しく読む。 ・教科書本文	(1) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して書く。 (該当なし)
(2) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取る。 ・教科書本文の聞き取り	(2) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝える。 ・補助ノート	(2) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読する。 ・教科書本文	(2) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く。 ・ノート
(3) 質問や依頼などを聞いて適切に応じる。 ・補助ノート	(3) 聞いたたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりする。 ・補助ノート	(3) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取る。 ・教科書本文	(3) 聞いたたり読んだりしたことについての質問に対する応答を正しく書く。 ・補助ノート
(4) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解する。 ・補助ノート	(4) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続ける。 (該当なし)	(4) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じる。 (該当なし)	(4) 身近な場面において体験したことなどについて、自分の行動などを書く。 ・補助ノート
(5) まとまりのある英文を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る。 ・教科書本文の聞き取り	(5) 与えられたテーマについて簡単なスピーチを行う。 ・補助ノート	(5) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたりその賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる。 ・教科書本文	(5) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く。 ・補助ノート

④ 研究内容 2 のエ「教材、板書の工夫」にせまるために

- ・新出語句の導入や音読練習の補助として、プレゼンテーションソフトを活用する。
- ・文法事項を理解しやすくするため、チョークの色使いに共通のルールを持たせる。

4. 指導計画（全 15 時間）

時	学習内容・主な活動	時	学習内容・主な活動
1	Part 1 <ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞目的格 which の導入 新出語句の確認 教科書本文の導入 音読 教科書本文の概要把握 	6	Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 教科書本文の内容理解 表の情報を読み取る練習 表の情報から説明を作る練習
	2	<i>Part 1</i> <ul style="list-style-type: none"> 教科書本文の内容理解 音読 Q&A 	7
3		Part 2 <ul style="list-style-type: none"> 原因・理由を表す表現の導入 新出語句の確認 教科書本文の導入 音読 教科書本文の概要把握・音読 	8
	4	Part 2 <ul style="list-style-type: none"> 教科書本文の内容理解 音読 日本語による説明文作り 自分の考えをまとめる練習 	9 0
5		Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 表の情報を読み取るための表現の導入 新出語句の確認 教科書本文の導入 音読 教科書本文の概要把握・音読 	1 2 1 4
			1 5

5. 評価規準

	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
ア 聞 く こ と				
イ 話 す こ と	<p>【言語活動への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語新聞に書かれたことについて意見を述べようとしている。 	<p>【適切な発話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表に書かれてあることを適切な表現を用いて説明することができる。 		
ウ 読 む こ と	<p>【言語活動への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表やポスターから多くのことを理解しようとして繰り返し読んでいる。 	<p>【正確な音読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。 	<p>【正確な読み取り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな情報が含まれる説明を読んで、その要点を読み取ることができる。 	<p>【言語についての知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな名詞の後置修飾についての知識を身に付けている。
エ 書 く こ と		<p>【正確な筆記】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手にわかりやすく情報をまとめたり、自分の意見を書いたりすることができる。 		

6. 本時の展開 (2/15)

本時の目標

- (1)聞き手にわかりやすく情報を伝えることができる。 <外国語表現の能力>
 (2)後置修飾が含まれる文章を読んで、正しく読み取ることができる。 <外国語理解の能力>

学習過程	生徒の思考と活動	教師の支援と活動の工夫	備考・留意点 (■ 評価規準 □ 評価方法)
導入 10	1. あいさつをすることができる。 2. 関係代名詞目的格を含む英文について理解することができる。 3. 教師の英語やリスニング CD を聞いて、タンチョウの生態について概要を把握することができる。 【言語活動：正確な聞き取り】	1. Good afternoon, everyone. 2. Let's review the last lesson. Look at テレビくん. Repeat after me. 3. Look at this picture. What are these birds? They are Japanese crane. Do you know where they live? They live in the Kushiro Wetlands. Today, let's learn about their life. Now listen to the CD.	○ Power Point を使って、関係代名詞目的格を含む文を提示する。 見通しの場面を設定 オーラル・イントロダクションによりタンチョウの生態について概要をつかむ。
本時の展開 30	【課題】 タンチョウの生態について読み取り、その情報を正しく伝えよう。 4. Power Point のスライドに合わせて、新出語句を確認することができる。 5. Power Point のスライドに合わせて、音読練習をすることができる。 6. 正確な音読を意識しながら、ポスターに書かれた情報を音読することができる。 【言語活動：正確な音読】 言語活動の活用 音読の工夫点について意見交流しながら、ポスターに書かれた内容を正しく伝えるように音読できるようにする。	4. Let's practice today's new words. Repeat after me. 5. Next, let's practice reading. Repeat after me. 6. タンチョウの生態について相手の人にわかりやすく伝えるためにはどのように音読したらよいらろう。 【観察・発表：外国語表現の能力】 Now please review step 1 as you used yesterday. Please discuss in your group how to explain Japanese crane's life. Also, practice reading in your group.	○ 本時の課題を明示し、学習の見通しを持たせる。 教材、板書の工夫 Power Point を使って ・新出語句をフラッシュする。 ・意味単位に区切った本文を提示する。 ○ ポスターに書かれた内容を正しく伝えるために、どの語句を強調したらよいか、どんな速さで音読したらよいかなど、音読の工夫点について話し合いながら音読練習ができるようにする。
まとめ 10	7. ポスターに書かれた情報から、タンチョウの生態についてまとめることができる。 【言語活動：正確な筆記】 【まとめ】 情報を正しく伝えるために、生態にかかわる語句や後置修飾によって説明された部分を強調して説明する。 8. 次時の学習の課題を知る。	7. Now please look at step 3. You have some questions about Japanese cranes. Please answer them in English. 【補助ノート：外国語理解の能力】 8. タンチョウの減少の理由や保護活動について読み取っていこう。	○ 板書で確認し、補助ノートに記入する。 振り返りの場を設定 読み取った内容を英語で表現する。 教材、板書の工夫 チョークの色遣いを工夫する。 ○ 次時の学習への見通しを持たせる。

7. 板書計画

<タンチョウの生態について読み取り、その情報を正しく伝えることができる>

Step 3

- (1) They live in wetlands.
- (2) They call Japanese cranes “The Gods of the Wetlands.”
- (3) They lived in many parts of Japan.
- (4) Because people hunted them and destroyed wetlands.
- (5) They almost disappeared.
- (6) Some cranes were found in the Kushiro Wetlands.
- (7) People were happy.

8. 参考文献

- 『言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～ 中学校版』（2012） 文部科学省
『平成 26 年度 中学校教育課程改善の手引』 北海道教育庁学校教育局義務教育課
『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校 外国語）』（2011） 国立教育政策研究所
泉 恵美子（2012）「スローラーナーのつまずきの原因を探る」『英語教育 2012 年 7 月号』 大修館
金谷 憲（2010）「中学校「外国語」の評価の留意点」『月刊 教職研修 2010 年 9 月号』 教育開発研究所
北尾 倫彦監修 山森 光陽・鈴木 秀幸全体編集 松浦 伸和編集（2011）『平成 24 年度版 観点別学習状況の評価基準と
評価基準 中学校外国語』 図書文化
工藤 文三編集（2008）『小学校・中学校 新学習指導要領 全文とポイント解説』 教育開発研究所
黒萩 徳樹（2013）「生徒がいきいきと活動できる授業づくりを目指して」『ONE WORLD 英語教育通信』 教育出版
佐藤 一嘉編著（2012）『フォーカス・オン・フォームでできる！ 新しい英文法指導アイデアワーク 中学 3 年』 明治図書
佐藤 真編集（2010）『各教科等での「見通し・振り返り」学習活動の充実』 教育開発研究所
鈴木 寿一（2014）「「活動」の計画・実施の際に考えるべきこと」『英語教育 2014 年 10 月号』 大修館
高木 展郎編集（2008）『各教科等における言語活動の充実』 教育開発研究所
瀧沢 広人（2014）『文法別で入試力をぐんぐん鍛える！ 中学生のための英作文ワーク』 明治図書
田尻 悟郎監修（2012）『ONE WORLD 準拠 教科書本文活用ノート 3』 教育出版
萩野 俊哉（2014）「後置修飾」『英語教育 2014 年 11 月号』 大修館
東村 広子（2014）「主体的に読む活動」『英語教育 2014 年 10 月号』 大修館
平木 裕（2011）「新学習指導要領に向けて 中学校編～中学校外国語科における指導と評価の工夫―第 1 回―」『STEP 英
検情報 2011 5・6』 財団法人日本英語検定協会
平木 裕（2011）「新学習指導要領に向けて 中学校編～中学校外国語科における指導と評価の工夫―第 2 回―」『STEP 英
検情報 2011 7・8』 財団法人日本英語検定協会
三木さゆり（2012）「特別支援教育の視点を取り入れた英語指導」『英語教育 2012 年 7 月号』 大修館
山口 朋久（2014）「ようやく活動への段階的指導」『英語教育 2014 年 10 月号』 大修館
「教えて先生」（2014）『北海道新聞 夕刊』 北海道新聞社